



# 国立公園満喫プロジェクト等推進事業

平成28年度補正予算第2号要求額  
10,289百万円

## 背景・目的

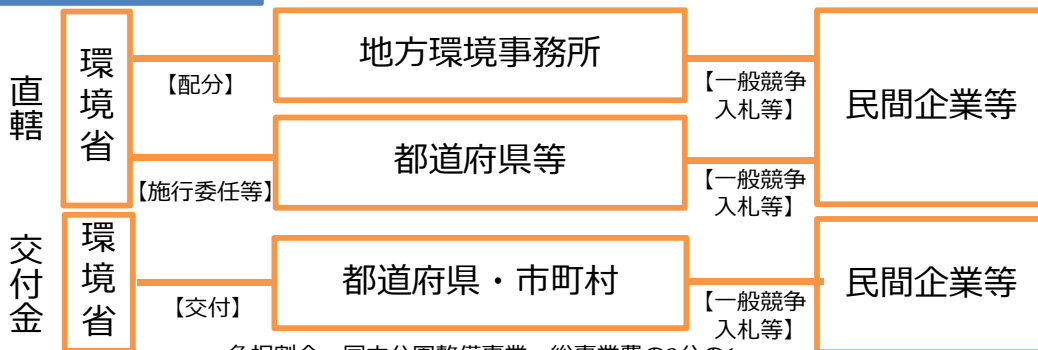
「明日の日本を支える観光ビジョン構想」を踏まえ、国立公園等において、世界水準の「ナショナルパーク」としてのブランド化を図るべく重点的な整備を行うことにより、2020年までに国立公園の訪日外国人利用者数1,000万人を目指す。

そのため、先導的モデルとなる国立公園として選定した各公園において地域協議会を設置し、ステップアッププログラムの策定を通じて、①上質で自然と調和した宿泊・滞在拠点の整備とそれらを中心とした自然景観の徹底した改善、②大自然の中に身を置き、体感できるよう大胆な利用の拡大に向けた取組を各省連携で進める。

## 事業概要

このため、環境省における具体的な取組としては、ITを活用した情報提供の実施や、ビジターセンター・歩道等の再整備を行うほか、国立公園ならではの観光資源の素材発掘、統一ブランドイメージに基づく海外プロモーション等により、外国人利用者の増加（現状430万人→2020年までに1,000万人）に向けた対応を環境省自ら着手し速やかに効果をあげることが可能な事業から着手するものとする。

## 事業スキーム



負担割合 国立公園整備事業 総事業費の2分の1

**整備工事等により 約85万（人・日）の雇用を創出**

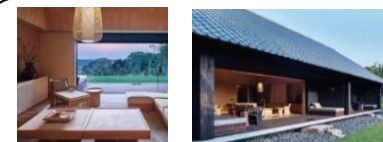
## 期待される効果

選定された国立公園等において、目に見える効果が発現することが、訪日外国人を含むあらゆる人の国立公園魅力の再発見の機会となり、多くの人々を呼び込み観光振興等、地域経済活性化が見込まれる。

## 事業目的・概要等

1. 上質で自然と調和した宿泊・滞在拠点の整備とそれらを中心とした自然景観の徹底した改善
2. 大自然の中に身を置き、体感できるよう大胆な利用の拡大

## イメージ



大自然の中に身を置く上質な宿泊・滞在施設

## 環境省事業

### 上質な利用拠点の整備



・ビジターセンターリニューアル  
(くつろぎ空間の創出、多言語解説等)

### 魅力的な展望拠点の整備と誘導



・魅力的な展望拠点  
(ITを活用した解説等)



・園路の高質化、IT化  
・標識類の多言語化  
(ITを活用した案内)



・トイレの洋式化、多機能化



・海外プロモーション